

<対策のポイント>

麦・大豆の需要を捉えた生産拡大により国産シェアを拡大するため、作付の団地化等の推進と営農技術の導入等による産地の生産体制の強化・生産の効率化を推進します。あわせて、作柄変動の大きい国産の供給力を安定させるため、民間保管施設の整備や一時保管により安定供給体制を確立します。

<事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加（76万トン→108万トン）
- 大麦・はだか麦生産量の増加（17万トン→23万トン）
- 大豆生産量の増加（21万トン→34万トン）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 麦・大豆等水田農業の生産体制強化

水田麦・大豆産地生産性向上事業 **100（-）百万円**
 【令和2年度第3次補正予算】4,682百万円

団地化の推進と営農技術の新規導入により、生産性の向上を図る先進的な麦・大豆産地の取組に対し、ソフト・ハード両面から支援します。

2. 需要に応える供給の実現と国産使用拡大

- ① 麦・大豆保管施設整備事業 【令和2年度第3次補正予算】1,000百万円
国産麦・大豆の安定供給に向けて、保管施設の整備を支援します。
- ② 麦類供給円滑化推進事業 【令和2年度第3次補正予算】265百万円
国産麦の供給を円滑化するための一時保管、安定供給体制の構築を支援します。
- ③ 麦類利用拡大推進事業 【令和2年度第3次補正予算】53百万円
国産麦の利用拡大に向け、商品開発、マッチング等を支援します。

（関連事業）

- ・ 戦略作物生産拡大支援事業 **97（100）百万円の内数**
- ・ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 **16,214（20,020）百万円の内数**
- ・ 農地耕作条件改善事業 **24,790（24,990）百万円の内数**
- ・ スマート農業総合推進対策事業のうち次世代につなぐ営農体系確立支援 **1,359（1,500）百万円の内数**

<事業の流れ>



1. 麦・大豆等水田農業の生産体制強化

団地化の推進



団地化推進等に向けた話し合い等の必要経費を支援（定額）

営農技術の導入
・畑地化実証支援



営農技術の導入や畑地化に向けた栽培実証を支援（定額）

施設整備・機械導入



生産性向上に必要な施設・機械導入等を支援（1/2以内）

2. 需要に応える供給の実現と国産使用拡大

麦・大豆の安定供給



保管施設の整備に向けた支援（1/2以内）

麦の利用拡大



国産麦の商品開発等を支援（定額、1/2以内）

【お問い合わせ先】 (1、2①の事業) 農産局穀物課 (03-6744-2108)
 (2②、③の事業) 貿易業務課 (03-6744-0585)